令和４年度高石市子ども・子育て会議概要

■日　時　：　令和５年１月２４日　（火）　午前１０時～午前１１時３０分

■場　所　：　高石市役所別館１階　会議室１１３

■出席者

〔委　員〕

畠中会長、中西副会長、清水委員、太田委員、土師委員、森本委員、竹内委員、岡本委員、川村委員、隈元委員、村井委員、村上委員、久家委員

〔事 務 局〕

市長部局　　北野保健福祉部次長兼高齢・障がい福祉課長、乾保健福祉部地域包括ケア推進課長

教育委員会　　村田教育部長、家村こども未来室長、吉村こども家庭課長、綾井教育総務課長、辻本子育て支援課長代理、杉原学校教育課長代理、上田こども家庭課長代理、道井社会教育課長代理、山川学校教育課主幹、宮城こども家庭課主任

■会議次第

１．開　会

２．委嘱状の交付

３．委員、事務局の紹介

４．会長、副会長の選出

５．会長の挨拶

６．案　件

（１）第２期高石市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの概要と人口推計の見直しについて

（２）教育・保育の見込み量・確保方策の見直しについて

（３）地域子ども・子育て支援事業の見込み量・確保方策の見直しについて

（４）第２期高石市子ども・子育て支援事業計画における施策の報告について

■配布資料

資料１　　次第
資料２　　高石市子ども・子育て会議条例
資料３　　高石市子ども・子育て会議委員名簿
資料４　　高石市子ども・子育て会議傍聴要綱
資料５　　中間見直しの概要と人口推計の見直しについて
資料６　　事業の見込み量・確保方策の見直しについて
資料７　　施策の報告について
資料８　　第２期高石市子ども・子育て支援事業計画（令和２年３月）冊子

■会議概要

１．開会　　事務局より開会挨拶
２．委嘱状の交付
３．委員、事務局の紹介
４．資料や出席状況の確認
　高石市子ども・子育て会議条例第６条第２項の規定による半数以上の出席の確認
５．会長、副会長の選出
６．会長挨拶
７．会議の公開に伴う傍聴者入室の承認

畠中会長：それでは、まず初めに会議の傍聴につきましてお諮りいたします。

本日、会議の傍聴希望者はいらっしゃいますか。いらっしゃらないということですので、このまま進めさせていただきます。

それでは、早速ですけれども、議題に入らせていただきます。本日は、高石市子ども・子育て会議にお集まりくださいまして誠にありがとうございます。

８．案件

（１）第２期高石市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの概要と人口推計の見直しについて・・・資料５に基づき、事務局説明(略)

畠中会長：令和２年３月に策定されたこの計画、今ご説明のとおりですけれども、13ページまでで何か理解できなかったこととか、あるいは疑問をお持ちのこととかありましたでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、こういった形で人口をきちっと一回再推計しまして、そして新たに事業の見込み量、令和５年度、６年度につきまして見直す、見直さないということですね。その場合に、国の基準で乖離が10%以上という基準がありますけれども、そこを中心にして見直し案を見ていこうという、そういう流れですね。推計は一応こういった流れの中で、ここまではよろしいですね。

（２）教育・保育の見込み量・確保方策の見直しについて・・・資料６に基づき、事務局説明(略)

畠中会長：いかがでしょうか。質疑に入りますけれども、今のご説明に対して、幼稚園の領域、①教育施設、幼稚園・認定こども園、②の保育所・認定こども園、それぞれで見直し案が提案されておりますが、最初にお配りした資料が出ておりますので、その辺の説明はご了解いただきましたでしょうか。大丈夫ですか。もしご意見等があればお聞きいたしますが、いかがですか。大丈夫ですか。

はい、どうぞ。

委員：11ページの令和４年人口推計の区分で、これは０歳が推計で415人だったけど、実際は443人生まれたという意味ですか。

事務局：はい、そうです。

委員：実際は確保できているのは143人とか140人、そのぐらいしか０歳は預けられないんですか。という受け止め方で大丈夫ですか。

畠中会長：質問の意味分かりましたか。

中西副会長：443人全員が希望するわけではないというのが、入りたい場合、キャパとしては令和５年だったら132を確保しているという意味ですかという。

事務局：そのとおりでございます。あくまでも現状のニーズに対しての割合でございます。

委員：ありがとうございます。

畠中会長：よろしいですか。

ほかにございますか。ここまでは一応了解いただいたということでよろしいですね。

（３）地域子ども・子育て支援事業の見込み量・確保方策の見直しについて・・・資料６に基づき、事務局説明(略)

畠中会長：地域子ども・子育て支援事業の見込み量、確保方策の見直しということで説明をいただきました。20ページから21ページにアスタリスクがついているところが見直し、それ以外に見直しはしないという流れでございますけれども、ご質問とかございますか。

この全体の事業で新型コロナウイルス感染症の影響による一時的なものであるという、こういう文章が21ページに出てきますけれども、具体的にはこれとこれとこれがそれに当たるとかということは説明できますか。部分的には一応了解しているつもりですけれども。

事務局：今回の見直しの中で乖離の要因がコロナの影響によるものかどうかというところでございますけれども、今回の見直しの中では、まず、４番の短期入所です。子育て短期支援事業でありますとか……

畠中会長：丸でいったら何番目ですか。

事務局：④番です。④番と、それから⑧番の一時預かり事業、そして⑨番の病児・病後児保育事業、そして⑩番のファミリー・サポート・センター事業は、コロナの影響を受けて実績値が下がっているものというふうに考えております。

畠中会長：どうもありがとうございました。
　あと、36ページの新しく追加された事業で、新制度に移行していない幼稚園という言葉をもうちょっと説明していただけますか。
事務局：新制度に移行していない幼稚園、具体的に申し上げましたら、この近辺でしたら、例えばあかつき幼稚園さんであったり、帝塚山幼稚園さんの幼稚園部であったり、いわゆる給付費の対象になっていない、もともとの私立幼稚園という部分になってございます。
畠中会長：了解しました。
　ほかにいかがですか。どうぞ。
委員：ありがとうございます。
　22ページのことを少しお尋ねさせていただけたらと思うのですが、４か所が５か所になりましたので、その後、５か所、125％ということで、10％以上ということなんですけれども、実際の利用の量といいますか、これは箇所数で見てこのくらいですけれども、利用量についてもう少し情報があれば教えていただけたらと思うのですが、大丈夫でしょうか。
事務局：箇所数を増やしたことによりまして、具体的には南海愛児園でやっております子育て支援センターの中で利用者支援事業を追加しております。そのことによりまして、場所自体も広い場所に、旧の高陽幼稚園の跡地に移しましたことによりまして、駐車場とかもたくさん完備しておりまして、その結果、利用者さんも増えているように聞いておりまして、もちろん利用者支援に関しましても相談数は増えております。
畠中会長：清水先生、よろしいですか。
委員：相談の件数とかは。
事務局：件数ですか。すみません。具体的に今ちょっとデータを持っていないんですが。
畠中会長：よろしいですか。
委員：はい。ありがとうございます。
畠中会長：ほかにございますか。はい、どうぞ。
中西副会長：28ページの地域子育て支援拠点事業なんですけど、今度コロナが５類に下がって、コロナの影響がだんだん減ってきたから一番数的には回復が早いところだとは思うんですけど、反映されてくる。２万９千ぐらいは全然許可的には問題ないという認識でよろしいか。
事務局：許可的にとはどの様なことでしょうか。
中西副会長：受け入れるのは全然問題ないかということです。
事務局：受入れは５か所ございます。大体今午前で15組から20組程度毎日来ていただいているようで、午後からも利用者さん８組程度、各支援センターさんで来ていただいているようですので、それで延べ数的には。
中西副会長：大丈夫。令和５年度が２万５千台の推計なんですけど、増えない見込みなんですよね。けど、実績としての２万９千台の受入れは全然問題ないですか。
事務局：はい。

畠中会長：ほかにございますか。

なければ、案件の（４）に入りたいと思います。第２期高石市子ども・子育て支援事業計画における施策の報告について、事務局から説明をいただきたいと思います。

（４）第２期高石市子ども・子育て支援事業計画における施策の報告について・・・資料７に基づき、事務局説明（略）

畠中会長：今、施策の進捗状況を各部署から報告をいただきましたが、いかがですか。特に何かお聞きしたいことございますか。

委員：①の社会で活躍する子どもの育成の上から４つ目について少し教えていただけたらと思うんですが、小中学校の各クラスの授業で週15時間程度のタブレット端末を活用した授業を実施している最中という意味でしょうか。その後、個別最適な学びと協同的な学びの実現ができるよう取組を進めてまいります。進めてまいります、なのでまだ途中というか、始まっていないという意味でしょうか。

事務局：現在、進めており、まだ研究段階で１人１台タブレット端末を活用して、ドリル教材や協同的な学びの実現を進めています。同時編集機能を活用し多様な意見を授業の中で子どもたちが、感想にコメントを書いたりして、瞬時に感想の共有をしたりとか、あるいは発表する際、タブレットを効果的に使い、大型のスクリーンに自分の意見を送信したり、グループで出た意見をすぐに送信して共有したりするというような研究を進めています。現在、研究段階ですので、ＩＣＴをどのように効果的に使えば子どもたちが授業時間の中に意見の交流ができるかや、今までやっていたことをどうＩＣＴに置き換えていけば効果的な授業になるかということを、学校と指導主事で共に取り組んでいます。

委員：ありがとうございました。

畠中会長：ほかにありますか。

中西副会長：１人１台タブレットの普及は、ＩＣＴの支援員の確保が結構大変なんですけど、高石市のほうはそういうのは。

事務局：高石市では、ＩＣＴ支援員を４名と、運営支援センターにリーダーを１名配置し、合計５名配置していただいております。ＩＣＴ支援員は派遣型で契約をしていますので、こちらのニーズに沿って、学校現場の困り感や、機器の不備などを対応していただいています。４月当初より５名配置していただいていますので、スムーズな１人１台タブレット端末を活用する環境の整備を整えていただいています。

中西副会長：ありがとうございました。

それともう一件、④番なんですけど、児童の発達支援センターのニーズがどんどん増えていて対応が大変だと思うんですけど、新築移転等で充実されていて、それはすばらしいなと思うんですけれども、ここのスタッフの確保とかはどんな感じですか。

事務局：スタッフですけれども、ほぼ正職員、今公立の保育所と児童発達支援センター含めて２園しかございませんので、松の実園に関しましてはほぼ正職が充実して配置できて

いる状況でございまして、国の配置基準よりも人数、2.5人に１人ぐらいの職員配置はできている状況でございます。
中西副会長：専門性を持たれた方をちゃんと確保しているということですね。
事務局：そうです。はい。
中西副会長：ありがとうございました。
畠中会長：ほかにございますか。
　多少瑣末的なことですけれども、施策の報告欄が少し、前のページの基本目標とか基本施策が挙がっていますので、それとの関連で挙げていったほうが、挙げてあるのかもしれませんけれども、各部署単位でばらばらです。どの基本施策がかなり一生懸命取り組んでいるかということが可視化できるような表現の仕方のほうが、活性化していくんじゃないかなというふうに、感想ですけれども。ちょっとアトランダムに事業が並んでいるだけで、全体の整合性が見えにくいという感想を持ちました。余計なことを言いましたけれども。
　ほかになければ、以上、今４点、ずっと今見てきましたけれども、今回の中間の見直し案をご承認いただけるでしょうか。
（異議なしの声あり）
畠中会長：よろしいですか。ありがとうございます。
　それでは、中間期の見直しについては、事務局提出の案による事業計画の変更を承認するということでご了承いただきたいと思います。
　本日の案件は全て終了いたしました。それでは、本日の会議はこれをもって終了といたします。委員の皆様におかれましては、会議進行にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。